

大分県教育委員会

事業名

生涯を通じた障がい者の学び支援事業

事業の趣旨・目的

共生社会の実現に向けた、障がい者の生涯学習環境整備を支援するために以下の取組を実施する。

- ・学校卒業後の学びに関する実態やニーズを把握し、「学びの場」づくりに生かす
- ・大学や社会教育関係施設(青少年の家、公民館)で講座を開設する
- ・専用サイトやリーフレットの制作により、情報にアクセスしやすい仕組みをつくる

事業内容

I 地域連携コンソーシアム会議の実施

関係機関のネットワーク化による障がい者の学びに関する情報・課題の共有

II 調査研究

- ①学校卒業後の学びの実態やニーズに関して調査し、分析結果を各取組に反映
- ②先進地視察

III 実践研究

- ①大分大学による公開講座(知的障がい者対象)実施
- ②社会教育関係施設での障がい者向け講座の実施

IV 普及啓発

- ①公民館職員を対象とした研修の実施
- ②「ともに学び、生きる共生社会コンファレンス～おおいたでかたろうえ！～」(R5/2/4)開催による、情報共有と成果普及
- ③障がい者の生涯学習に関する情報発信
- ④特別支援学校における生徒および保護者に対する啓発・体験活動の実施

事業実施体制・連携先

※コーディネーターは大分県教育庁社会教育課

- ・大分大学 ・大分県立大分支援学校 ・大分大学教育学部附属特別支援学校
- ・大分県社会福祉協議会 ・大分県障害者社会参加推進センター
- ・社会福祉法人「太陽の家」・芸術文化・スポーツ団体 ・当事者団体
- ・企業 ・行政(大分市・別府市教委、県特別支援教育課、県障害者社会参加推進室)

今年度の取組状況

I 地域連携コンソーシアム会議

①6/28 ②11/16 ③2/4(コンファレンスと兼ねる) ④2/22

○情報交換・課題共有 ○事業内容説明・報告 ○協議「持続可能な取組にするために」

II 調査研究

- ①アンケート調査 回答数1,080件(回収率71%)
9月 調査実施(①当事者②支援者③生涯学習担当課④社会教育関係施設)11月結果報告
- ②先進地視察 コンファレンス2回(愛知県春日井市、岩手県仙台市)

III 実践研究

- ①大分大学生涯学習 6回実施 受講者4名 学生ボランティア延べ37名 メンター2名参加
- ②・香々地・九重青少年の家ワンデイキャンプ4回実施 139名参加(障がい当事者111名)
・豊後大野市千歳公民館で「ひょうたんカレッジ」5回実施 障がい当事者延べ38名参加

IV 普及啓発

- ①第1回公民館テーマ別研修 7/16秋田県能代市中央公民館より講師招へい
第2回公民館テーマ別研修 9/16兵庫県朝来市より講師招へい(オンライン)
- ②九州・沖縄ブロックコンファレンス(R5/2/4)
- ③情報サイト「かたろうえ大分」、リーフレット作成 ④特別支援学校出前講座3回

その他研究の詳細など

障がい者の生涯学習に関する情報サイト「かたろうえ大分」参照

<https://kataroue-oita.jp>



大分県生涯学習情報システム「まなびの広場おおいた」: <https://www.manabi-iota.jp>

大分県教育庁社会教育課HP: <https://www.pref.iota.jp/site/syakaikyoku>



第1回コンソーシアムの様子



大分大学生涯学習講座



かからワンデイキャンプ(工作)